

都道府県名：北海道	市町村名：黒松内町
<p>1. 活動名 黒松内岳ブナ林再生プロジェクト実行委員会</p>	
<p>2. 取組の背景、目的 町民有志が集まり、町のシンボルの一つである黒松内岳にブナ林を再生するために2007年度より、活動を開始。黒松内岳にもともとあったブナ林を再生すること、北限域におけるブナ林の再生手法の確立、地球温暖化防止に貢献すること、の3つの目的のため活動。北海道森林管理局後志森林管理署と4ヘクタールの土地を再生地として使用する協定を結んでいる。</p>	
<p>3. 実施主体 町民有志、町役場（事務局：黒松内町ブナセンター）、後志森林管理署</p>	
<p>4. 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会、総会（毎年、総会と同時に森づくりに関係する講演会を実施。） ・ 春の霜対策（ブナの開葉時期から遅霜が終わるまでの期間、霜が降りそうな晩に、寒冷紗の上にブルーシートを掛けて、霜を防ぐ） ・ 春の種まき（再生予定地、苗畑、ブナ林内、ミズナラ林内に1㎡あたり1000粒の種をばらまき実生を密生させ育苗する試み） ・ 渡島半島のブナ林ツアー（様々な北限のブナ林を見る目的で毎年実施。） ・ 山取苗の移植（町外からのブナ林再生植樹ツアー実施） ・ 種子集め（12m四方のネットを樹下に設置） ・ 秋の苗畑管理作業（種子が集まれば秋まき、苗畑の寒冷紗撤去） 	
<p>5. 支援事業</p>	
<p>6. 取組等についての成果や課題 種子集めの手法は、確立できてきた。結果として、来年度以降、渡島造林協会で本プロジェクトの手法で、渡島半島産のブナの苗木の安定供給の試みが実施される。より、効率的なブナの育苗手法やササを刈らないブナ林再生手法などが課題。</p>	



苗畑の霜対策

寒冷紗は雪解け後すぐに張り、ブルーシートは6月末まで霜の降りそうな夕方に掛ける。



苗畑のブナの実生

線状に植えた畝、ばらまきをした畝などがある。成長が良いのはばらまきをした畝の方。



山取苗の移植事業

町外からのブナ林再生植樹ツアーと称して、ブナの移植体験とブナ林の散策をセットにしたツアーを実施。



ブナの種子集めのネット

樹下に12m×12mのネット（特注品）を仕掛け、9月下旬から11月上旬の間、2週間に1回ネット上の種子を回収する。